

(8) 推薦入試

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
人文学部 人文学科	30人	<p>高等学校を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者（(注)の①、②及び③を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <p>1 人物・学業ともに優れ、本学部での学習に意欲のある者</p> <p>2 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) ① 特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>② 高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>平成23年度大学入試センター試験の成績、小論文、面接の結果及び出願書類を総合して行います。</p> <p>○大学入試センター試験で受験を要する教科・科目（3教科3科目）</p> <p>国〔国語〕</p> <p>外〔英、独、仏、中、韓から1〕</p> <p>数〔数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1〕</p> <p>数〔数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1〕</p> <p>地歴〔世B、日B、地理Bから1〕</p> <p>公民〔現社、倫、政経から1〕</p> <p>(注) 22ページの(注)1、2及び3参照</p>	<p>出願期間 平成22年11月15日(月)～11月17日(水) (必着)</p> <p>選抜期日 平成22年12月11日(土)</p> <p>合格者発表 平成23年2月7日(月)</p> <p>募集要項の発表 平成22年7月下旬</p> <p>請求方法は、44ページを参照してください。</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊤標示を希望します。</p>
教育学部 学校教員養成課程	40人	<p>平成23年3月高等学校卒業見込みの者（(注1)を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <p>1 学業・人物ともに優れ、小学校教員になる強い意志と情熱をもつ者</p> <p>2 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注1) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき3人までとします。</p> <p>留意事項</p> <p>○入学後所属できる「専修」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育コース（学校教育学、教育心理学、特別支援教育） ※幼児教育を除きます。 ・教科教育コース（国語教育、社会科教育、英語教育、数学教育、理科教育、家庭科教育、技術科教育、音楽教育、美術教育、保健体育） 	<p>平成23年度大学入試センター試験の成績、面接の結果及び出願書類を総合して行います。</p> <p>○大学入試センター試験で受験を要する教科・科目（5教科7科目又は6教科7科目）</p> <p>国〔国語〕</p> <p>外〔英、独、仏、中、韓から1〕</p> <p>数〔数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1〕</p> <p>数〔数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1〕</p> <p>理〔理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1又は2〕</p> <p>地歴〔世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1〕</p> <p>公民〔現社、倫、政経から1〕</p> <p>(注) 22ページの(注)1、2及び3参照</p>	<p>出願期間 平成22年11月1日(月)～11月5日(金) (必着)</p> <p>選抜期日 平成22年12月11日(土)</p> <p>合格者発表 平成23年2月7日(月)</p> <p>募集要項の発表 平成22年7月下旬</p> <p>請求方法は、44ページを参照してください。</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊤標示を希望します。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
教育学部 健康スポーツ科学 課程 芸術環境創造課程 音楽表現コース 造形表現コース 書表現コース	9人 6人 3人 3人	平成23年3月高等学校卒業見込みの者 ((注)を含む。)で、次の各号に該当し、 当該学校長が特に優れていると認め、責 任をもって推薦するもの 1 学業・人物ともに優れ、 健康スポーツ科学課程 …健康及びスポーツに関する問題に 対して関心が強く、顕著な競技成 績を有する者で、将来、地域社会、 職場、行政等において健康やス ポーツ関連の指導・従事者等にな る情熱をもっているもの 芸術環境創造課程 …芸術の学習に熱意のある者 2 合格した場合は、入学することを確 約できる者 (注) 文部科学大臣が高等学校の課程と 同等の課程又は相当する課程を有す るものとして認定又は指定した在外 教育施設を平成22年度中に修了した 者及び修了見込みの者	大学入試センター試験を 免除し、次の検査を行います。 健康スポーツ科学課程 ……面接 芸術環境創造課程 ……実技検査(25～27 ページ参照)及び 面接 (注) 芸術環境創造課程造 形表現コースの面接時 には、「本人が制作し た美術作品」を2点持 参してください。(本 人が制作したことをク ラス担任が証明する書 類(様式は任意)を添 えてください。重量・ 大きさの関係で持参で きない場合は、写真で も構いません。) 入学者選抜の判定は、当 該検査結果及び出願書類を 総合して行います。	出願期間 平成22年11月1日(月) ～11月5日(金) (必着) 選抜期日 平成22年11月20日(土) 合格者発表 平成22年12月7日(火) 募集要項の発表 平成22年7月下旬 請求方法は、44ページ を参照してください。 学習成績概評Aに属す る生徒のうち、人物、学 力ともに特に優秀な者につ いては、「学習成績概 評」の欄に㊤標示を希望 します。
法学部 法学科	45人	高等学校を卒業した者及び平成23年3 月までに卒業見込みの者((注1)の①、 ②及び③を含む。)で、次の各号に該当し、 当該学校長が責任をもって推薦するもの 1 募集要項に同封する「新潟大学法学 部の推薦入試を受験しようとする君た ちへのメッセージ」及び法学部法学科 の教育理念と教育目標をよく理解し、 将来、国際社会及び地域社会に貢献し たいという意欲を持つ者であって、潜 在的・顕在的に、現代社会の諸問題を 公正かつ論理的に解決できる能力を有 し、国際化・情報化に対応するコミュ ニケーション能力及び総合的な視野に 立った政策提案能力を有していると認 められるもの 2 調査書の学習成績の全体の評定平均 値が4.0以上で、本学部での勉学に熱 意を持つ者 3 合格した場合は、入学することを確 約できる者 (注1) ① 特別支援学校の高等部を卒 業した者及び卒業見込みの者 ② 高等専門学校の第3年次を修 了した者及び修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の 課程と同等の課程又は相当する 課程を有するものとして認定 又は指定した在外教育施設を 修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該学校長が推薦できる人員 は、1校につき2人までとします。	大学入試センター試験を 免除し、面接の結果及び出 願書類を総合して行いま す。	出願期間 平成22年11月2日(火) ～11月5日(金) (必着) 選抜期日 平成22年11月20日(土)、 11月21日(日) (いずれかの1日) 合格者発表 平成22年12月17日(金) 募集要項の発表 平成22年7月下旬 請求方法は、44ページ を参照してください。 学習成績概評Aに属す る生徒のうち、人物、学 力ともに特に優秀な者につ いては、「学習成績概 評」の欄に㊤標示を希望 します。

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
経済学部 (昼間コース) 経済学科 経営学科	(*1) 参照の こと	平成23年3月高等学校卒業見込みの者 ((注1)の①, ②, ③及び④を含む。) で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するもの 1 学業・人物とも優れ、 経済学科……経済学の勉学に意欲のある者 経営学科……経営学の勉学に意欲のある者 2 学習成績概評がA段階の者 3 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注1) ① 平成22年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成22年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成22年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該学校長が推薦できる人員は、経済学科及び経営学科を合わせて1校につき2人以内とします。	大学入試センター試験を免除し、小論文及び出願書類を総合して行います。	出願期間 平成22年11月1日(月) ～11月4日(木) (必着) 選抜期日 平成22年11月20日(土) 合格者発表 平成22年12月16日(木) 募集要項の発表 平成22年7月下旬 請求方法は、44ページを参照してください。 学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊤標示を希望します。
理学部 数学科 物理学科 化学科 生物学科 地質科学科 自然環境科学科	7人 5人 5人 3人 5人 6人	平成23年3月高等学校卒業見込みの者 ((注)の①, ②及び③を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの 1 学業・人物ともに優れ、 数学科 …数学それ自身に興味をもつとともに他分野への応用にも興味をもつ人 物理学科 …自然の仕組みの解明や基本法則の追求に興味をもって取り組む人 化学科 …化学に興味をもち、意欲的に取り組む人 生物学科 …生命現象の理解と解明に意欲的に取り組む人 地質科学科 …野外調査に基づいて地球の仕組みや成り立ちの解明に意欲的に取り組む人 自然環境科学科 …自然環境問題の解明に必要な幅広い分野の実験や実習に意欲的に取り組む人	○数学科 ○化学科 ○生物学科 ○地質科学科 ○自然環境科学科 大学入試センター試験を免除し、小論文、面接及び出願書類を総合して行います。 ○物理学科 大学入試センター試験を免除し、基礎学力試験、面接及び出願書類を総合して行います。	出願期間 平成22年11月1日(月) ～11月4日(木) (必着) 選抜期日 平成22年11月27日(土)、 11月28日(日) 合格者発表 平成22年12月10日(金) 募集要項の発表 平成22年7月下旬 請求方法は、44ページを参照してください。

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
		<p>2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) ① 平成22年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者 ③ 平成22年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p>		
<p>医学部 医学科</p>	<p>35人 (地域枠A5人及び地域枠B10人を含む)</p>	<p>【一般枠】 平成23年3月高等学校卒業見込みの者((注1)の①及び②を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの 1 学習成績概評が④又はAで、人物も優れ、将来医学の分野で活躍が期待される者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注1) ① 平成22年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき7人までとします。 (注3) 新潟県内の高等学校出身者で、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者は本学医学部医学科推薦入試【地域枠】との併願ができます。</p> <p>【地域枠】 (地域枠には「地域枠A」と「地域枠B」があります。) (地域枠A) 新潟県内の高等学校を平成19年4月から平成22年3月までに卒業した者(以下「既卒者」という。)及び、平成23年3月卒業見込みの者(平成22年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込み者」という。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの 1 学習成績概評が④又はAで、人物も優れ、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (地域枠B) 地域枠Aの出願要件に加え、新潟県が設定する修学資金を受給し、卒業後、新潟県が指定した医療機関に9年間勤務することを確約できる者 (注1) 新潟県内の高等学校長が推薦できる人員は、1校につき10人までとします。 (内訳) 卒業見込み者：一般枠を含め7人以内 既卒者：3人以内 (注2) 地域枠Aと地域枠Bは併願ができます。</p>	<p>平成23年度大学入試センター試験の成績、面接の結果及び出願書類を総合して行います。 ○大学入試センター試験で受験を要する教科・科目(5教科7科目) 国〔国語〕 数〔数Ⅰ・数A〕 数〔数Ⅱ・数B〕 理〔物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰから2〕 外〔英、独、仏から1〕 地歴〔世B、日B、地理Bから1〕 公民〔現社、倫、政経から1〕 (注) 22ページの(注)1及び3参照</p>	<p>出願期間 平成22年11月2日(火)～11月8日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成22年12月3日(金)</p> <p>合格者発表 平成23年2月7日(月)</p> <p>募集要項の発表 平成22年7月下旬</p> <p>請求方法は、44ページを参照してください。</p> <p>【一般枠】と【地域枠】を併願した者は【一般枠】を優先して選抜し、【一般枠】で合格とならなかった場合、【地域枠】として選抜の対象になります。</p> <p>新潟県では将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、奨学金を貸与し、修学支援を行っています。特に地域枠Bの入学者に対しては、医師養成修学資金貸与制度「重点コース(地域枠B入学生枠)」を設け、修学支援を行っています。</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に④標示を希望します。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
医学部 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	20人 10人 12人	<p>平成23年3月高等学校を卒業見込みの者（(注1)の①、②及び③を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するもの</p> <p>合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>〔看護学専攻〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護学の学習に熱意のある者 調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 <p>〔放射線技術科学専攻〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 放射線技術科学の学習に熱意のある者 調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 <p>〔検査技術科学専攻〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 検査技術科学の学習に熱意のある者 調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 <p>(注1) ① 平成22年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>② 平成22年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員</p> <p>普通科（理数科等を含む。）においては、看護学専攻は、1校につき2人以内、放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻についてはそれぞれ1校につき1人としします。</p> <p>職業教育を主とする学科及び総合学科においては、各専攻とも1校につき2人以内としします。</p> <p>ただし、看護学専攻においては、准看護師の受験資格を得ることができる学科の場合は、さらに当該学科から1人推薦できるものとしします。</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、小論文、面接（基礎学力に関する口頭試験を含む。）及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間 平成22年11月1日(月)～11月4日(木) (必着)</p> <p>選抜期日 平成22年11月19日(金)</p> <p>合格者発表 平成22年12月3日(金)</p> <p>募集要項の発表 平成22年7月下旬</p> <p>請求方法は、44ページを参照してください。</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊤標示を希望します。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
歯学部 歯学科	10人	<p>平成23年3月高等学校卒業見込みの者（(注1)の①、②及び③を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <p>1 学習成績概評が㉠又はAで、人物も優れ、歯学の学習に熱意のある者</p> <p>2 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注1) ① 平成22年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>② 平成22年度中に高等専門学校第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき2人以内とします。</p>	<p>平成23年度大学入試センター試験の成績、小論文、面接の結果及び出願書類を総合して行います。</p> <p>○大学入試センター試験で受験を要する教科・科目（5教科7科目）</p> <p>国〔国語〕 数〔数Ⅰ・数A〕 数〔数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1〕 理〔物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰから2〕 外〔英, 独, 仏から1〕 地歴〔世B, 日B, 地理Bから1〕 公民〔現社, 倫, 政経から1〕</p> <p>から1</p> <p>(注) 22ページの(注)1, 2及び3参照</p>	<p>出願期間 平成22年12月8日(水)～12月14日(火) (必着)</p> <p>選抜期日 平成23年1月20日(木)</p> <p>合格者発表 平成23年2月7日(月)</p> <p>募集要項の発表 平成22年7月下旬</p> <p>請求方法は、44ページを参照してください。</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㉠標示を希望します。</p>
歯学部 口腔生命福祉学科	5人	<p>平成23年3月高等学校卒業見込みの者（(注1)の①、②及び③を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <p>1 学業・人物ともに優れ、口腔保健学及び社会福祉学の学習に熱意と明確な目的意識を有する者</p> <p>2 調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>3 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注1) ① 平成22年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>② 平成22年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき3人以内とします。</p>	<p>平成23年度大学入試センター試験の成績、小論文、面接の結果及び出願書類を総合して行います。</p> <p>○大学入試センター試験で受験を要する教科・科目（5教科6科目又は6教科6科目）</p> <p>国〔国語〕 数〔数Ⅰ・数A〕 外〔英, 独, 仏から1〕 数〔数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1〕 理〔理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰから1又は2〕 (地歴〔世B, 日B, 地理Bから1〕 公民〔現社, 倫, 政経から1〕から1又は2〕</p> <p>から3</p> <p>※「理科」から最低1科目及び「地歴又は公民」から最低1科目を選択すること。</p> <p>(注) 22ページの(注)1, 2及び3参照</p>	<p>出願期間 平成22年12月8日(水)～12月14日(火) (必着)</p> <p>選抜期日 平成23年1月20日(木)</p> <p>合格者発表 平成23年2月7日(月)</p> <p>募集要項の発表 平成22年7月下旬</p> <p>請求方法は、44ページを参照してください。</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㉠標示を希望します。</p>

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
工学部 機械システム工学 科 電気電子工学科 情報工学科 福祉人間工学科 化学システム工学 科 建設学科 機能材料工学科	(* 2) 参照の こと	平成23年3月高等学校卒業見込みの者 ((注)の①及び②を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するもの 1 人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注)① 平成22年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者	大学入試センター試験を免除し、面接(基礎学力に関する試問を含む。)の結果及び出願書類を総合して行います。	出願期間 平成22年11月1日(月) ～11月4日(木) (必着) 選抜期日 平成22年11月25日(木)、 11月26日(金) (いずれかの1日) 合格者発表 平成22年12月6日(月) 募集要項の発表 平成22年7月下旬 請求方法は、44ページを参照してください。 学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊤標示を希望します。
農学部 農業生産科学科 応用生物化学科 生産環境科学科	(* 3) 参照の こと	平成23年3月高等学校卒業見込みの者 ((注)①、②及び③を含む。)及び農業に関する学科、水産に関する学科、家庭に関する学科及び総合学科のいずれかを平成20年度以降に卒業した者で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの 1 農業生産科学科にあつては、学業・人物ともに優れ、農林業又は関連産業の振興に熱意のある者 応用生物化学科にあつては、学業・人物ともに優れ、応用生物化学の学習に意欲のある者 生産環境科学科にあつては、学業・人物ともに優れ、生産環境科学の学習に意欲のある者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注)① 平成22年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成22年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成22年度中に修了した者及び修了見込みの者	大学入試センター試験を免除し、小論文、面接及び出願書類を総合して行います。	出願期間 平成22年11月1日(月) ～11月4日(木) (必着) 選抜期日 平成22年11月20日(土) 合格者発表 平成22年12月3日(金) 募集要項の発表 平成22年7月下旬 請求方法は、44ページを参照してください。 学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊤標示を希望します。

(* 1) 経済学部の推薦入試募集人員は、次表のとおりです。

区 分	推薦入試の対象となる高等学校の範囲	募集人員
経 済 学 科	(範囲の指定なし)	20人
経 営 学 科	商業に関する学科及び総合学科 (注)	10人
	高等学校の普通科等 (上記以外の学科)	10人

(注) 総合学科は、商業に関する教科・科目を20単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。

(* 2) 工学部の推薦入試募集人員は、次表のとおりです。

区 分	推薦入試の対象となる高等学校の範囲	募集人員
機械システム工学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	15人
	工業に関する学科及び総合学科 (注1)	7人
電気電子工学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	15人
	工業に関する学科及び総合学科 (注1)	5人
情報工学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	13人
	工業に関する学科及び総合学科 (注1)	4人
福祉人間工学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	10人
	工業に関する学科及び総合学科 (注1)	4人
化学システム工学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	12人
	工業、農業及び水産に関する学科及び総合学科 (注2)	4人
建設学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	6人
	工業に関する学科及び総合学科 (注1)	4人
機能材料工学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	4人
	工業、農業及び水産に関する学科及び総合学科 (注2)	3人

(注1) 総合学科は、工業に関する教科・科目を20単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。

(注2) 総合学科は、工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。

(* 3) 農学部推薦入試募集人員は、次表のとおりです。

区 分	推薦入試の対象となる高等学校の範囲	募集人員
農業生産科学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	5人
	農業に関する学科及び総合学科 (注1)	5人
応用生物化学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	5人
	農業、水産及び家庭に関する学科及び総合学科 (注2, 3)	3人
生産環境科学科	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	6人
	農業に関する学科及び総合学科 (注1)	5人

(注1) 総合学科は、農業に関する教科・科目を25単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。

(注2) 家庭に関する学科は、食物に関する教科・科目を25単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。

(注3) 総合学科は、農業、水産又は食物に関する教科・科目を25単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。